

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	スタッフが担当者の作成した介護計画の理解が不十分な部分がある。	ケア内容をスタッフ一人ひとりが理解し、モニタリングを実施する。介護計画の作成に際し、具体性を打ち出せるよう心掛ける。	日々のケース記録の中に介護計画が反映されるよう、個人別に介護計画をケース記録に貼付し、理解を深め、チームケアを統一する。	12ヶ月
2	1	事業所理念の理解が不十分。また実践につなげられていない。	事業所の理念やケアの具体的な方針を会議などで話し合い、理解を深め、実践につなげる。	スタッフ会議にて、理念の確認を行う。、またその他の会議時も理念を基に実践につなげられるようにする。	12ヶ月
3	8	スタッフの権利擁護に関する制度の理解が不十分である。	各スタッフが、制度の内容を一般常識として理解する。	施設内外の研修に参加し、会議時などで話し合い、浸透させる。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。